

# スズメバチ

アシナガバチ、スズメバチ、ミツバチなど気をつけたいハチはたくさんいますが、秋に危険度が高まるのがスズメバチの仲間。オオスズメバチ、キイロスズメバチ、クロスズメバチ（ジバチ）などがよく知られています。



キイロスズメバチ  
体長17～24mm。  
木の枝、軒下、地中などに営巣する。  
攻撃性が高い。

## 症状と対処

スズメバチの多くは、刺されると激痛とともに腫れが生じる。一刻も早く毒を吸い出せるよう、ポイズンリムーバーはすぐ使用できるよう備えておきたい。ハチの毒は水溶性なので、絞り出しながら洗い流すことも有効。アナフィラキシー・ショックが疑われたら大至急救急車を呼ぶ。過去に刺された経験がある場合など、エピペン®を持っていれば早急に打ち救急車・病院へ。

## アナフィラキシー・ショックの症状

息がしにくい、吐き続ける、唇や爪が青白い、意識がもうろうとするなど。死に至る恐れがあり早急にエピペン®の使用など対応が必要。詳細は日本小児アレルギー学会資料を参照。

日本国内で最も死亡者数が多い危険生物はハチ。巣が最大化し個体数が増える秋こそ要注意です。

## 予防方法 一事故ゼロに向けてー

ハチは黒色への警戒が強いため、黒っぽい服装を避け、帽子を被りましょう。整髪料や香水はハチを誘引するおそれがあるため注意。手で払わない・動かずハチが離れるのを待つ・ハチが離れない場合にはしゃがみながらハチから離れるなど「ハチが近くにきたときの対応」を参加者に伝えおきましょう。もし巣を刺激してしまったら、急いでその場を離れてください。下見の際にハチの巣がないか確認し、施設管理者にも確認してください

### 参考)

- ・日本小児アレルギー学会HP「一般向けエピペン®の適応」
- ・『危険生物ファーストエイドハンドブック 陸編』文一総合出版

2018年10月は**安全のクローバー月間**。安全対策に取り組みましょう。（編集：安全対策委員会）

ネイチャーゲームショップからのオススメ「アスピナン」

傷口に合わせてコネクタを切り替えて使用できるポイズンリムーバー。コネクタを交換して繰り返し使用できるので衛生的です。



公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会  
<http://www.naturegame.or.jp/>

# 擦り傷・切り傷

## ①擦り傷

転んだり壁などにこすってできる擦り傷は、服から出ている部分に多いケガです。

### 症状と対処

傷口を土や砂などで汚れたままにすると、化膿や破傷風など感染の心配があります。傷口を清潔な流水でそっと洗い、入り込んだ土や砂を取り除きます。そのため必ず洗浄用の水を用意しておきましょう。傷の汚れがひどい場合は、洗浄後、清潔に保って、すみやかに病院へ。

## ②切り傷

クラフトなど刃物を使う活動でよく起きるケガです。屋外においても落ちていたガラスが刺さるなどして、起きる可能性があります。

### 症状と対処

出血が止まらない、傷が深い、傷口が開く心配がある場合、また屋外での傷、動物に引かれた傷など①同様、感染が心配な場合は、すみやかに病院へ行き医療手当を受けてください。出血が止まらないケガに備え、直接圧迫での出血コントロールを学び、予防バリアの手袋（グローブ）とガーゼなどを用意しておきましょう。

自然遊びの現場でよくある擦り傷や切り傷。よくあるからこそ、予防と対応が大切です。

## 予防方法 一事故ゼロに向けてー

擦り傷・切り傷は防げるケガです。道具の使い方、置き場所などに注意したり、下見時に転倒の危険や鋭利なものがないか確認しましょう。また肌の露出を減らすことでケガを予防できます。事前に参加者に服装について伝えましょう。

## 子ども参加者がケガをしたら

塗り薬などは使用せず、心配な場合は医療手当を受けましょう。宿泊行事など子どもだけが参加する行事では、事前に「病院にかかる可能性があること」を保護者に伝え、書面にて承諾をもらっておきます。軽いケガであっても解散時等に**保護者にケガの経緯と程度、子どもの様子を共有し、心配な場合には病院を受診するよう**伝えます。

### 参考)

- ・NIID国立感染症研究所HP「破傷風とは」
- ・日本創傷外科学会HP「擦(すり)傷」「切り傷」



2018年10月は**安全のクローバー月間**。安全対策に取り組みましょう。（編集：安全対策委員会）



公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会  
<http://www.naturegame.or.jp/>